

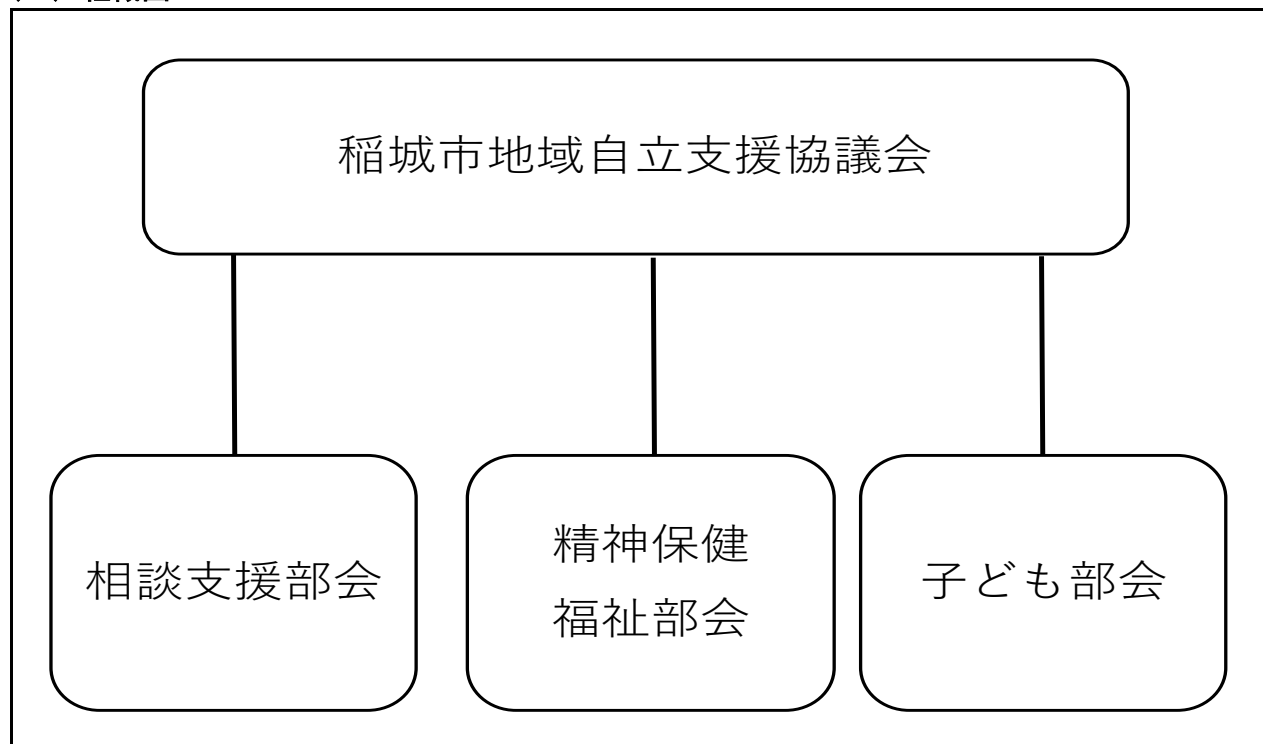
稲城市

1 地域自立支援協議会の基本事項

(1) 名称 稲城市地域自立支援協議会

(2) ホームページURL <https://www.city.inagi.tokyo.jp/kenko/syougai-fukushi/sonota/gijiroku.html>

(3) 組織図



(4) 会議実施方法等

ア 開催方法

全体会	集合形式	専門 部会等	集合形式
-----	------	-----------	------

イ 開催時間

全体会	平日日中（業務時間内）	専門 部会等	平日日中（業務時間内）
-----	-------------	-----------	-------------

2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏 名	所属	種 別	備考	経験 年数
1	会長	藏野 ともみ	大妻女子大学	学識経験者		長期
2	副会長	青野 修平	社会福祉法人 正夢の会	雇用関係機関		長期
3		鈴木 英之	稲城市社会福祉協議会	相談支援事業者		長期
4		石川 哲	NP0わくわく	障害福祉サービス等事業者		長期
5		村上 愛美	社会福祉法人 正夢の会	障害福祉サービス等事業者		1年
6		菊池 晴美	東京都南多摩保健所	保健所		長期
7		津野 由記子	島田療育センター	医療関係者		長期
8		櫻井 真紀子	都立多摩桜の丘学園	教育関係機関		1年
9		川本 安岐夫	安心安全連絡会	家族・関係団体		1年
10		進藤 直人	稲城市身体障害者福祉協会	障害当事者（ピアサポーター含む）		長期
11		高野 玲子	稲城市精神障害者家族会	家族・関係団体		長期
12		狩野 和枝	民生児童委員	民生委員・児童委員		長期

(2) 委員構成

種 別	全体会・ 部会名	全体会	相談支援 部会	精神保健 福祉部会	子ども 部会
学識経験者		1	0	0	0
医療関係者		1	0	3	0
保健所		1	0	1	0
教育関係機関		1	0	0	0
雇用関係機関		1	0	0	0
企業		0	0	0	0
障害当事者（ピアサポーター含む）		1	0	0	0
家族・関係団体		2	0	1	0
身体・知的障害者相談員		0	0	0	0
相談支援事業者		1	15	3	2
障害福祉サービス等事業者		2	0	8	15
社会福祉協議会		0	0	1	1
法曹関係者		0	0	0	0
民生委員・児童委員		1	0	0	0
地域住民		0	0	0	0
行政職員（区市町村）		0	0	3	0
行政職員（都）		0	0	0	0
その他		0	0	0	0
計		12	15	20	18

3 地域自立支援協議会の活動状況

(1) 地域自立支援協議会での協議事項（複数回答）

① 障害福祉計画等に関すること。

障害福祉計画等の策定について報告及び意見交換。

② 相談支援事業の運営体制に関すること。

相談支援部会で、事業者の現状報告、居宅介護事業所・GHとの連携会議を開催

③ 地域移行・地域定着支援に関すること。

精神保健福祉部会で、精神科病院からの退院促進の方法について検討し、退院シートを作成、事例検討等を行った。

④ 高齢者福祉サービスとの連携に関すること。

高齢との連携を促進するため、地域包括支援センター全体会に、基幹相談支援センター及び一般相談支援委託先職員が参加した。また、精神保健福祉部会で、市高齢福祉課より、高齢分野における精神保健の取組みについて紹介した。

⑥ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること。

本会で、多機関との連携により支援した困難事例について報告した。子ども部会で、困難事例への支援について、グループワークを行った。

(2) 地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

② 情報共有・情報発信

市内施設の状況（開設・増員・整備予定・行事等）について情報共有。

③ 分野を越えてのネットワークの構築

子ども部会では、子ども・保健（おやこ包括支援センター）、教育（教育指導課）、精神保健福祉部会では、医療（市内精神科病院）、保健（精神保健福祉センター・保健所）の参加により、ネットワークを構成した。

⑤ 地域課題の整理

困難ケース検討など

⑥ 課題解決に向けての検討

現状把握と不足する資源の洗い出し

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

障害計画策定に係る内容等の検討

(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 個別の困難事例の把握・検討（複数回答）

② 専門部会やその他の各種連絡会等から検討が必要なものを取り上げている。

困難事例の中で、多くの関係機関の連携により支援したケースについて報告した。

イ 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

相談支援と地域生活支援拠点の連携について、検討した。

⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

サービス事業所のマンパワー確保の工夫について、情報交換した。

⑧ 障害児支援

子育て支援・教育関係機関と連携した支援について検討した

⑪ 地域移行・地域定着支援

入院者の退院支援について、医療機関と地域関係者の取り組み内容について検討した

ウ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

⑪ 地域移行・地域定着支援

サービス利用者が少なく、事業所が安定した運営を取りにくい。

4 地域自立支援協議会の活性化

(1) 地域自立支援協議会活動の評価

ア 全体会・専門部会等の評価

全体会	ある程度活性化した。	専門部会等	ある程度活性化した。
-----	------------	-------	------------

具体的な内容

相談支援部会では、サービス事業者、グループホーム担当者との意見交換を実施した。精神保健福祉部会では、退院支援に利用するシートを作成し、病院内の取組み案について検討した。子ども部会では教育やおやこ包括支援センターの担当者から、不登校や発達相談について説明を受けた。

イ 活性化したと評価する理由

全体会・専門部会において、参加者の発言が活発であった。

ウ 活性化するための今後の取組

参加者の意見から、取組み内容を検討する。